

第4回 那珂市議会報告会 記録

1 開催概要

(1) 平成28年10月22日(土) 午前10時～午後0時
総合センターらぼーる

①出席議員 13名

中崎議長、遠藤副議長、大和田議員、花島議員、筒井議員、
寺門議員、小宅議員、綿引議員、木野議員、萩谷議員、笹島議員、
君嶋議員、福田議員

②参加者 33人

(2) 平成28年10月23日(日) 午前10時～午後0時
ふれあいセンターごだい

①出席議員 14名

中崎議長、遠藤副議長、大和田議員、富山議員、花島議員、
筒井議員、寺門議員、綿引議員、木野議員、古川議員、萩谷議員、
勝村議員、助川議員、須藤議員

②参加者 21人

2 報告内容

(1) 議会運営委員会報告

①那珂市議会の概要

②議会運営委員会の概要

③議会改革の推進状況

④議員定数・報酬等の改正

⑤定例会の流れ

(2) 総務生活常任委員会報告

①瓜連駅北側市有地等(旧日本サーボ株式会社瓜連工場跡地)の利
活用について

②議案第72号 平成28年度那珂市一般会計補正予算(第3号)(総
務生活常任委員会所管部分の財産管理事務費について)

③住民票の写し等のコンビニ交付の導入について

(3) 産業建設常任委員会報告

①調査事項「道路の申請、採択、工事等の状況について」

(4) 教育厚生常任委員会報告

①幼稚園保育料徴収条例の一部改正について

②医療福祉費支給に関する条例の一部改正について

③中央公民館規則の一部改正について

④那珂市地域密着型サービス事業の整備について

⑤調査事項「子育て支援について」

(5) 原子力安全対策常任委員会報告

- ①原子力関連事業所の平成 28 年度年間事業計画について
- ②広域避難計画策定の進捗状況
- ③気体廃棄物の放出状況

3 意見交換記録

(1) 平成 28 年 10 月 22 日 (土)

- 参加者 9 月 17 日付読売新聞茨城空き家解体費認めず手続き不備は今回の報告会と議会だよりで中身がわかった。法律を無視した議案上程をしているのか。今定例会での執行部とのやりとりを聞きたい。
- ◇議会 現在住所は那珂市ひばりが丘。4 月 19 日に登記した後公売予定。固定資産税が保留されたまま。解体後売却予定額がアスベストが出たため解体価格が高額となった。83 坪ではペイできない。担当執行部が退職したため説明不備となり修正動議となった。発表の通りである。
- 参加者 今まで執行部と議会がキャッチボールができなかった。こういった報告会、開かれた議会のため有意義。政務活動費今までは 24 万もらっているのだから考えをなおしてもらいたい。
- 参加者 報告会の事務局に提案。報告会の日程の周知徹底を。報告は 30 分くらいで質疑応答の時間を増やしてほしい。空きビルの補正修正動議の各議員の賛成理由、反対理由を聞かせてほしい。議長への質問ですが①議会報告を無視し市長が独断でおこなったこと②市長が空き家対策特措法を無視③今年まで所有者に対して固定資産税、都市計画税を 1 度も請求していない④市長が寄付を受けてしまった解体費用を請求しない、の 4 点について追及するため 100 条委員会の設置や監査請求はするのか。政治倫理条例によると市長と市議会は市民全体の奉仕者として市が行うものには個人に有利にならないようにとある。議員さん自身もこの条例に抵触しないか。
- ◇議会 今回の報告会は議案を説明する場であるため個人の発表は今回は答弁が難しいところ。
- ◇議会 執行部が法的に OK なのか調べているところ。それ以降のことは我々が判断するところ。執行部は執行権を持っている。すべての議員に対して執行部は各委員会に説明すればよいのは。市の全体の全ての予算をみて議会に臨んでいるわけではない。
- 参加者 JCO 原子力低レベルごみを燃やしている。いつまでか。那珂聖苑において前市長の覚書で小規模開発をしようとしていたが進捗は。イノシシ駆除について今年の報告会でも言ったが栃

木県西方町の方法をまねしてみてもどうか。

- ◇議会 去年か一昨年報告ではあと二、三年かかった後、取り壊すとの報告を受けている。
- ◇議会 よこぼりふれセンと下水道の整備をした。イノシシ駆除については栃木県壬生町に確認したところ農業被害はないとのこと。（去年の質問者が間違っていた）西方町に確認してみます。害獣駆除隊は去年 142 頭、今年は 10 月現在で 97 頭。個人個人ではなく団体の多面的支払交付金をつかって整備していきたい。
- 参加者 議員定数の削減の公聴会に日当 1,000 円で行ってきた。矢祭町の議員報酬日当 1 日 3 万円。議長は年間 62 日 186 万円、一般議員は 31 日から 33 日 93 万円。那珂市の日当は 14 万 5,000 円、名古屋市長は日当 3 万円、小池知事は日当 5 万 6,000 円。パートは時給 800 円。那珂市は借金だらけ、東海は借金なしで基金もある。
- ◇議会 前半は議案についての質疑でありルール違反である。矢祭のまねは誰もしないでしょ。10 月のスケジュールをみせてあげます。あなたより働いていますよ。公聴会では若い人も出られるように報酬をあげても良いという意見があり、今回新人も当選し活力ある議会になりました。開かれた議会、魅力ある議会になってありがたい。
- 参加者 イノシシ駆除のさらなる資質向上のために補助をお願いしたい。震災復旧の県道 61 号環境センター入口の反対側に水がたまっている。排水路が機能していない。市がすすめてほしい。待ったなしの要望を強くさせていただく。
- ◇議会 執行部に申し入れをしておく。
- 参加者 しどり静川土管のくさった水の件のつづきで、大宮土木と県とが今年 4 月に工事ははいると言っていたが、まだはいつてない。資材置き場は地主の OK をいただいた。県道のうら水田と畑からたまった水をパイプ 5 本で排水している。300 メートルが 2 本がだめで、ちょろちょろくさった水が流れている。今度工事をやるとくさった水が一気に流れ、静のため池がため池の用をなさなくなる。市と自治会と大宮土木と三者協議とさせてくださいと要望済みである。書類は提出済みで大宮土木も建築課も来ている。
- 参加者 10 月 21 日那珂市の第 2 次策定委員会がありこの中で予算が限られている中で 10 年スパンでやっている骨太の方針をきめている。水戸市からみれば那珂市は県北の玄関口、那珂市の位置づけはどのように考えているのか。大井川は県の予算、県の鳥獣センターとタイアップして観光地として先崎県会とともに県に陳情しなければ。議員も一致団結して県議も使って県

に陳情するべき。

○参加者 ゴミ指定袋のフルネームについて市の環境グループからの通達です。市が家庭ごみの収集を委託している業者から連絡があり、10月17日からゴミ指定袋に氏名フルネームの記入がないゴミに関しては完全に回収しないこととなりました。市では那珂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則にてゴミ指定袋への氏名フルネーム記入を定めておりますが、今までは氏名フルネームの記入がないゴミ袋についても事情により回収させていただいておりました。しかし今回改めて市の条例施行規則に則り、ゴミ指定袋の氏名フルネーム記入の周知徹底をさせていただきます。9月末に聞き、自治会に先に通達しないと混乱が生じるため自分でつくった。10月2日平野では半数もっていない。環境課に問い合わせたところ行き過ぎたと謝罪があった。今までよくてなぜだめなのか。10月8日菅谷地区は苗字でOKだった。菅谷はかごがあるところでは前日出していますね。近隣市町村では名前なし。個人情報ではないのか。回収しなければ夏場はどうするのか。自治会加入率が低い菅谷はどうするのか。

◇議会 議会から執行部へ12月議会には答えをだします。

○参加者 第2次総合計画で質問させていただいた。来期の予算は10億足りない200億の借金。人口減において魅力あるまちづくり。工業団地の誘致などで法人税収入など増やすには市議会全体としてどう考えているのか。市議会は身を削っての覚悟はあるのか。

◇議会 色々なところに家が建つよう区域指定を各地区指定しました。世帯数が増えているが人口は微減。工業団地は1カ所あまっている。ガス発電所100万キロワット稼働される。そういったものが起爆剤になるとよい。議会も定数が18人となってきついが頑張っている。

○参加者 ふるさと納税制度、大洗は126品目を増やしたら税収何倍にも。ガス発電所の税収の見込み額は。

◇議会 大洗はキャラクターグッズもあり少し特殊。1点突破、肉なら肉、焼酎なら焼酎そういったところが30億から40億のところもある。納税額は調べてから後ほど報告します。ガス発電は稼働してからでないとわかりません。

○参加者 増収を早めに考えて魅力ある那珂市に

○参加者 しどりの湯が不良のたまり場となっている。夏の部屋明けをしているが、今後の対策としてグランドゴルフ、城里、ひたちなかなど市内外問わずきている。外貨獲得、市民の健康づくりのため市議会のバックアップを。公民館の維持管理が難し

くなってきている。市にお返しして市で管理してほしい。街灯も負担となってきた。

○参加者 自治会制度について高齢者の世帯数が増えてきて班長がむずかしくなり脱会もやむえない状況。市が丸投げではなく、自治会制度についてこのようにしていきたいという姿勢をみせてほしい。

○参加者 議会だよりP7について市の理不尽なところを精査していただいて市の発展に貢献してほしい。これからも頑張ってもらいたい。

(2) 平成28年10月23日(日)

○参加者 区域指定、人口が減るので、そのためにとは考えていない。農家の立場では、新住人が入ってきて、これまで、農業の中でやってきたこと、野焼きや、夜も乾燥機を動かすなどに苦情が出て摩擦が生じることを懸念する。新住民は、権利を主張するが、自治会などのコミュニティー活動にも、参加が少ないのでは。

定年間近の人が転入してきて、社会保障の負担が増えること、インフラ整備への要求が強くなることなど、財政基盤が揺るがされることも懸念する。

市街化調整区域の本来の目的、市街化の防止にも反するのでは。温暖化防止にも逆行する。人口を減らさないということではなく、人口減少に見合った社会保障などを考えるべき。夕張市は、市営アパートを減らすなどで対応している。

◇議会 区域指定については、市内8地区で、説明会を進めている。私たち議員も会場で皆さんの意見を聞いている。

委員会でも、おっしゃるような意見も出されていますが、住民説明会もまだすべて終わってはならず、産業建設委員会でも、正式なコメントはまだできません。

住民説明会、平成29年1月に予定のパブリックコメントなどを踏まえ、委員会として判断させていただきます。

○参加者 カタカナで、パブリックコメントってどういうことですか。日本語で教えてください。

◇議会 意見集約ということで、市のほうで市民アンケートと同じような形で意見を募集するものです。

○参加者 教育厚生委員会で、高齢者福祉と子育て支援ということで2本立てで調査活動をやるとし、高齢者福祉に重点を置かれていると思います。人口減の問題があるので、子育て支援のほうに重点を置いてほしい。

菅谷中宿では、高齢化が進んでいる。高齢者を地域で見守ることが重点になってくると思うが、IT機器を使って見守るこ

とをやっている市町村がある。文明の利器を活用した対策も検討して欲しい。

◇議会 子育て支援については、幼児が、中学生、高校生そして大学生とか社会に出るまでを子育てと、私は考えている。

人が大切、人材の育成は我々の使命で、大人の責任が重要。子育て支援には力を入れていきたい。

高齢者福祉は、姥捨て山とか、市に預けるのではなく、自治会や、民生委員さん、みなさんで高齢者を守っていきたい。

○参加者 政務調査費の減額と議員報酬の引き上げについてということなのか聞きたい。

ごみの問題を気にしている。那珂市は里山が多いが大変汚れている。たばこ、空き缶。茨城学園右側がひどい。松林の中にもあらゆるものが捨てられている。那珂市民は、モラルが低いのでは。

耕作放棄地が非常に多い。特に畑は全滅状態。農業委員会とか、農業何とかの役所の部局は無くしても良いと思うくらい。

原子力について。埼玉の新座変電所で火災があった。OFケーブルが燃えたが、油を使った古いケーブル。新しいものはCFケーブルだそうだが、茨城では置き換えが進んでいるのか。また日本原電ではどうなっているのか。

◇議会 議員報酬、39万5,000円に引き上げた。議会の役割と活動時間の増加で議員活動時間が増え、議員のなり手が少なくなる現象が全国である。22名から4名減らし、その中、報酬を5万円増やした。政務活動費の減額と合わせると、年間約2,000万円の削減になると試算してそうした。

政務活動費については、政務活動費の手引きを作り、適用範囲などを明確にした。これはホームページでも閲覧できる。費用弁償も見直した。議員の数を減らしたこと、議員は365日フル稼働しているということでご理解いただきたい。

◇議会 ごみの問題は認識しています。モラルもありますが、地域で、自治会や班単位でごみ回収をやっているところもあります。市ですべてはできないので協力いただいています。カンバンなどを出していますが、なかなか徹底されません。市の環境課と相談していきます。

農業委員会などについて、なくしたほうがよいというご意見は、ご意見があったことを執行部に伝えます。

◇議会 日本原電のケーブルの火災対策について、当初は防火塗料を使う計画を、防火シートに変更して、難燃化対策を行っていると聞いています。具体的なケーブルの種類などは把握していません。原電で行っている報告会で聞いていただければと思います。

ます。

- 参加者 議員定数の減と、それから報酬のアップということは、質がちがいますね。22人居た議員です。18人で済むと思ったから18人にしたのであって、5万円、8分の1アップは性格が違います。

ゴミの問題については、安易に売る自販機の増大などに問題があると思いますが、ご認識をしていただくために、できれば茨城学園を1周して帰っていただきたい

ケーブルについて、OFケーブルについては知らない。それは原電に聞けということですか。

- ◇議会 ケーブルの材質、型名など把握していません。

- 参加者 テレビで散々取り上げられている東京ガスが、神崎地区で工事を進めています。問題がないか不安です。

発電所ができ、税収が増えたら、その一部で、那珂二中の周辺の耕作放棄地や、市道の雑草、雑木などが生い茂っているのを対応してほしい。道が狭くなる、泥水が溜り、通学時に被ることになる、蛇が出るなど大変。

- ◇議会 東京ガスは、日立から栃木県真岡市へのパイプラインを作っています。発電所は、東京ガスではなく別の発電会社がやる予定。税収は、稼働してみないと分かりません。

- ◇議会 休耕田などについては、現場を確認させていただき、対応させていただきます。

- 参加者 1年前にも話しました。

ひとつは公共交通、水戸市や常陸太田市は市内の交通の再編などをやっている。那珂市はどう考えているのか。中台は陸の孤島状態。経済圏、病院、買い物ほとんど水戸。不便で、中台の高齢者は困っている。どういうふうにお考えか。

- ◇議会 平成24年に、バス、タクシー等公共交通について、各機関、社会福祉協議会、自治会等で構成します那珂市地域公共交通会議を設置し、皆様の意向を調査して、那珂市地域公共交通連携計画を策定しました。その中では、現在の交通システムと、デマンド交通、ひまわりタクシーと言っていますが、これによる組み合わせをして、平成25年4月からひまわりタクシーが運行開始しています。

これは那珂市内だけです。現在、県央地域定住自立圏構想というものが、水戸市ほか那珂市、近隣市町で構成しています。その中でそういったものを、相互交通乗り入れできないのかどうかなどを検討しています。

- 参加者 人口減少が続いていきます。中台地区でも減少し、一人暮らしが多くなっていますが、息子さんが親のところと一緒に

住まないのです。排水、下水道がない。浄化槽でもしみこみ式だとすぐにいっぱいになってしまう。大人数では特に。そういうことから、ひたちなか市に住まいを設ける例が多い。人口減少対策と生活環境の整備の両面で、下水道整備は必要。中台地区の下水道整備はいつになるのか。

◇議会 下水道に関して、下水道審議会があり、今度、計画の見直しが30年に一応行われる予定なんですけど、その時に詳しくされますので、その下水道審議会のほうに、私どもからこうなっているということで、しっかりと話をさせていただきたい。他は30年にならないければ、お答えできない状況です。

○参加者 少子高齢化は見えている。町にやってもらいたいことはたくさんあるが、いくらお金あってもやりきれない。そういうことを見据えて、高齢者の中にある程度有償でやるような、NPOみたいなものを作っていけばよいと思う。タクシー代までは払えないけど、多少はお金を払っても、動きたい、でも動けない人も多い。市中心、社協中心にやると重くてなかなか進めない。それを、民間団体とか、NPOとか、そういうものに移せるよう、検討願います。今すぐやれということではないです。

◇議会 NPOの活用とか、そういったものを、市民協働参画で共に考えていきたいと思えます。

○参加者 那珂市五台小学校から後台駅までの間は、高校が2つ、と短大があります。その道路、これ非常に交通、児童生徒の数が多。犯罪とか大きな交通事故とかは発生していませんが、心配しています。街路灯も少ない、それから防犯灯も少ない。市役所の防災課にお願いしても市の予算でやっているからどうしようもない、五台中地区だけ補助金をいっぱい出すわけにいかないと言われる。

防犯灯設置をぜひ増額させていただきたい。

◇議会 予算獲得に苦慮すること理解します。防犯灯は今LEDになっており高いです。一つ既存の電柱につけるのに、4万5,000円かかります。これは半分ずつ負担するにしても2万数千円かかってしまいます。

自治会の判断で、ここに、ここに年次計画でやっているのですが、もうちょっとLED電灯も安くなるのではと期待はしているのですが、まず予算が少ないというのは私も感じております。なんとか予算を増加するようなことを、私も防災担当として、陳情してまいりたいと思えます。

◇議会 五台地区の学校はたくさんあって雨が降ると雨水が車の溝にたまって、子供が通る車に水を掛けられながら通学しているという話を聞いております。学校さんとも直接お話をしてどう

いうふうになっているのかを確認したり、教育行政とはちょっと離れる、建設委員会になってしまいますが、通学路については、市道と県道といろいろそれぞれ管轄があるので、県道については県会議員に県のほうに陳情していただいて、働きかけていくつもりです。通学路の安心安全の確保について進めてはいるつもりですが、なかなか思うように進みません。

- 参加者 今全国的に空き家問題が話題になってます。それと同じように那珂市の場合は休耕地の問題がものすごいと思います。大木が 2011 年原子力の事故の後ものすごい成長してます。木々を伐採するのに、大木にしてしまった後で大変なお金をかけて処理するより、早目に手を打てば、お金の節約になると思います。

それと自治会のほうで、除草で費用とかが出てますけども、どういう風に使われているのか、自治会のことはわからない。市のほうに聞きましても、自治会長さんのお名前をお聞きしましたが、連絡先も家も判りません。「電話番号を載せていただけたらありがたかったんです」と言ったら、「個人情報なので載せられません」と言われたんです。どうなやっているんだ、何をすればいいんでしょう。自治会長の連絡先も教えてもらえない、そんなごちゃっぺなことってないじゃないですか。

- ◇議会 現状を確認させていただき、休耕地に関しては那珂市も結構多いものですから、そういった対策法など考えていきたいと思えます。

- ◇議会 休耕地、農家の所有の土地を那珂市の税金を使って伐採することは、なかなかできないです。道路の脇のこさ、道路に被さってますよね、それを、乗用車が通る、あるいはすれ違う時にすごく邪魔だから、切りたい。那珂市としては切りたい。でも、そういうのはあくまでも、山林の所有者がやらなくちゃならないし、市の税金をそこだけやると、うちのほうもやってくれと、ここもそうだよということになる。個人の土地、個人の所有の休耕地を管理するのはなかなか難しい。

道路の陳情、街路灯の陳情、自然に自治会長さんを通して市のほうにお願いして下さいとお願いしています。なかなか地域の自治会に入らない人が多いです。役員やらされるのが嫌だとか、いろいろ出なくちゃなんないのが嫌だとか、一斉清掃で缶拾いに出ていかななくちゃは嫌だと言って入らないんですが、それ以上に自治会で地域のコミュニティが作れる、いろんな人と地域の関わりがあるってことを、いい方向にとっていただいて、ぜひとも自治会に入っていただきたい。奉仕だよ、私が生きているあかしだよと、自治会の役員にもなっていたら、自

治会もこれから継続していけると思っています。

自治会の役員の皆様には本当にお世話になっておりますけれども、これから一緒に那珂市を作っていく、ドロップアウトしてもまだまだ那珂市のために働ける。そういう意味でひとつ、どうぞよろしくをお願いします。

- 参加者 今の話、間違っています。道路に草が被さっているとか、それ市道ですよ、市道と国道と県道と全てに、道路に草が被さっている。あの私有地から出ているのは間違いない。しかし、歩道、大半は草で覆われてます。たとえば自転車で、水戸から水農に通うのが現実的じゃないくらい危険。豊喰地区から、五台小学校にくるところに歩道がない所がある。今時、子供が、自動車と一緒に歩かなくちゃいけないようなところです。水農のところ南にはできたけど、その先はない。歩道さえもないところがある。防犯灯とかそういうことも非常に大事だと思いますけど、基本的なところがなくて、魅力的な町づくりをしようとは、本末転倒。

節約するとことは節約してもいいとおもいますがけれども、節約してはいけないところがある。子供の未来にはお金をかけるべきです。インフラはしっかりやらなくちゃいけない。子供を持っているお母さんが那珂町に喜んで住めるようなものを作らないと、この町はダメになります。

- 参加者 太陽光発電がどんどん作られています。つくばでは景観問題ということで条例が作られるようなことです。この那珂市においても、たとえば 50 キロワット以上については、そういった条例ができていいのではないかと。まず輻射熱の影響、定量的に出ていません。しかし住宅の周りにあれば、暑くなるんです。実例ですけど、私の西木倉、あそこに大きな太陽光発電ができて、一昨年、大雨が降って、その水が当然太陽光パネルの上に水が当たる、今までは地中に染み込んでたのですが、排水設備が充分じゃないため流れ、土砂が流れ出し用水をせき止めちゃったというようなことがありました。

太陽光発電については、条例を検討してほしい。太陽光発電を理由に土地の転売も見られます。

- ◇議会 太陽光発電の条例ですが、県のほうでもガイドラインが出され、またそれに基づき、那珂市でも条例化をしようとの動きがあります。